



購読料 年8,000円  
送料共 但し、会員は会費に含まれる

発行所  
京都府保険医協会  
〒604-8162  
京都市中京区烏丸通蛸薬師上ル七観音町637  
インターフェイス丸丸6階  
電話 (075) 212-8877  
FAX (075) 212-0707  
編集発行人 花山 弘

# 医療DXとかかりつけ医は環境整備と合意形成が必須

## 22年度地区懇アンケート

2022年度の地区医師会との懇談会に併せてアンケートを実施。医療DXと「かかりつけ医制度化」を

テーマに聞いた。22年10月から23年4月にかけて220人に送付し、351人から回答を得た（回答率16%）。

医療DXは個人情報管理の透明性確保から国はオンライン資格確認を義務化し、現行の健康保険証を廃止して「マイナ保険証」に切り替えるなどデジタルトランスフォーメーション（DX）を医療分野で本格的に推進しようとしている。協会はこうした医療DXの狙いを、個人の医療情報を民間企業に活用させ、「健康・医療のビジネス化」を加速させることによる「経済成長」と、国家による医療・健康情報把握により医療費抑制政策をさらに展開させる面がある

と指摘。デジタル化自体は否定しないものの、まずは個人情報の保護と第三者への情報提供については丁寧な説明による国民の合意形成が必要と考えている。

そこで、「医療DXについてどう考えるか」を複数回答で聞いたところ、「集積する個人情報を利用し誰が監督するのか透明性を確保すべき」が75%で最も多かった。次いで「企業利益の追求や社会保障給付抑制への活用でなく、国民生活の利便性を発展させる観点が必要」が62%、「国民の機微な情報を守る体制構築を最優先にすべき」が60%の一方で、「国の思惑がどうであれデジタル化は早急に進める必要がある」は11%にとどまった（図1）。

「かかりつけ医機能は医療保障の充実で」

「かかりつけ医機能が發揮される制度整備」を含む全世代型社会保障法が5月12日に国会で成立した。今回、協会は危惧した「かかりつけ医制度化」にまでは踏み込まなかった。これに先立って「かかりつけ医機能を發揮できる医療制度について、どう考えているかを複数回答で聞いた。

図1 医療DXについてどう考えるか（複数回答）

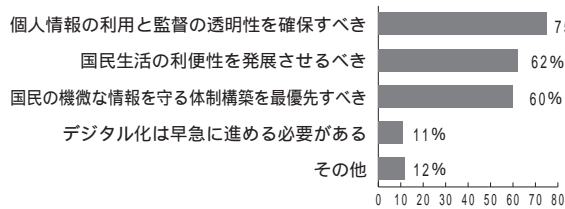
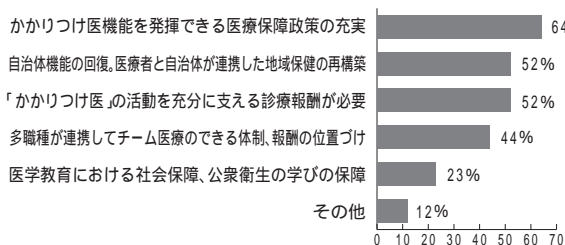


図2 「かかりつけ医機能」を發揮できる医療制度（複数回答）



「かかりつけ医機能が發揮できる医療保障政策の充実」が64%であった。次に「自治体機能の回復、医療者と自治体が連携した地域保健の再構築」が52%、「かかりつけ医」の活動を充分に支える診療報酬が必要」が52%、「多職種が連携してチーム医療のできる体制、報酬の位置づけ」が44%、「医学教育における社会保障、公衆衛生の学びの保障」が23%と続いた（図2）。

# 保険証廃止の撤回を

## 長岡京市議会が国に意見書

### 府内自治体では初めて

健康保険証の廃止について、府内自治体では初めてのこととして、長岡京市議会が6月26日、地方自治法第99条の規定に基づき、住民の代表たる地方議会として、市民の声を国に示したと見える。同市議会の意見書は、国民皆保険制度の下で保険証を廃止してマイナンバーカードに統合するのは強権的な方法と批判。他人の医療情報が紐づけされている事例は生命に関わる問題であること、マイナンバーカードを持っていない人は公的保険診療から遠ざけられることなどを指摘し、廃止撤回を求めている。

最多は「かかりつけ医機能を發揮できる医療制度について、どう考えているかを複数回答で聞いた。

できる背景となる医療保障政策の充実」が64%であった。次いで、「構造改革により後退した保健所を含む自治体機能の回復。医療者と自治体が連携した地域保健の再構築」と「かかりつけ医」としての活動を十分に支える診療報酬が必ず

要」が52%で並んだ。「多職種が連携してチーム医療のできる体制、そのための報酬が位置付けられていること」が44%、「医学教育における社会保障、公衆衛生についての学びの保障」が23%と続いた（図2）。

そのため、人事院は3月、週休3日制を希望する全ての職員が取得できるようにすべきと提言し、政府に1層の業務改革を求めた公立学校教員採用試験の受験者総数も教員の長時間労働が問題となる中、減少傾向にある。これに危機感を抱いた文部科学省は2022年、教員の働き方改革を進めるため、長時間勤務の要因となり、多大な負担となっている中学校の休日の部活動の外部委託に向けた検討を始めた。医療を含め、さまざまな職種で、若者に選ばれる職場を目指して、働きやすい環境づくりが推進されている。一部の総合病院で午後診療を廃止する動きがあるのもその一環であろう。Z世代（10〜20代）の若者は働くことをどう捉えているのだろうか。彼らにとって働く価値観は「仕事」中心から「自分らしさ」も大切にしている傾向に変化しつつある。「良い結果を出す」「能力を高める」ではなく、「自分らしい生活を送る」「仕事環境の心地良さ」が重要なものである。価値観は具体的なものからフワッとしたものに移りつつある。若者が求めているのは、一応自分色にキラキラ輝いて、なんとなくドキドキワクワクすることであるようだ。（clear）

# 主張

ボイ活という言葉があるらしい。買い物などによって得られるポイントを集める活動だそう

だ。できるだけ同じ系列の実店舗やネット通販で買い物をする、そのポイントが効率良く集まるので、楽天経済圏、PayPay経済圏などという言葉も生まれている。系列店を増やすため、また利用者を増やすため、各経済圏はしのぎを削っている。

6月16日に、経済財政運営と改革の基本方針2023、いわゆる骨太方針が閣議決定された。この骨太方針23にはデジタルトランスフォーメーション（DX）の強制を行った結果である。本場に便利なものであればそのような無理なことをしなくても、お買い物ポイントのように普及率は上

# 事実上強制のマイナンバーカード政策 患者に必要な医療が保障される社会に

は為政者としていかなるものであろうか。きちんとした議論を行った上で義務化するのならば、議論を回避して事実上の強制を行うの

が、ついでいくものではないだろうか。きちんとした議論を行った上で義務化するのならば、議論を回避して事実上の強制を行うの

いて、骨太方針23は次のように述べている。「次期診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の同時改定においては、物価高騰・賃金上昇、経営の状況、支え手が減少する中での人材確保の必要性、患者・利用者負担・保険料負担への影響を踏まえ、患者・利用者が必要なサービスが受けられるよう、必要な対応を行う」。原案では、「患者・利用者負担・保険料負担の抑制の必要性」となっていたものが「影響」という文言

# 補選結果

## 上京東部・西陣・宇治久世

上京東部・西陣・宇治「西陣」久世医師会選出の代議員 田中 誠  
 員・予備代議員の欠員に 金光 京石 竹之内 剛  
 伴う補欠選挙を行いました 予備代議員 茶谷 賢一 中津留 有子  
 たところ、立候補者は 白井 智彦 井上 亮  
 定数以内でしたので、京都府保険医協会選挙規定「宇治久世」  
 第2章第31条により、投票を行わず立候補者をもつて当選人と決定しました。任期は2025年4月30日まで。  
 訂正：西陣医師会の予備代議員の欠員は4人です。補選の公示本紙第3148号を訂正します。





